

循環型社会づくり 家族でチャレンジ3R

私たちは、大量生産、大量消費、大量廃棄の社会の流れの中で、豊かな暮らしを実現しましたが、その一方で、地球上の限りある資源を浪費するとともに大量のごみを発生させることとなり、焼却によるダイオキシンの発生、最終処分場のひっ迫、ごみの不法投棄、また、地球温暖化などのさまざまな環境問題を引き起こしています。

今後、私たちは生活スタイルや経済活動を見直し、天然資源の消費を抑制し、環境への負担が低減される循環型社会を構築する必要があります。

「循環型社会のシステムをつくる」ということは手段であり、本当の目的は「持続可能な社会をつくる」こと

とにあります。

循環型社会は、水、食糧、エネルギー、産業から雇用に至るまで、社会を構成する要素すべてに関連しているものです。

●3Rとは

使い終わったものをごみとして捨てるのか、新しいものをつくるために、資源として再利用しようとするのか。

ごみを減らし、循環型社会を構築していくためのキーワードが「3R」です。



3R（スリーアール）とは、環境と経済が両立した循環型社会を形成していくためのキーワードです。

- ① Reduce（リデュース）…廃棄物の発生抑制
- ② Reuse（リユース）…再使用
- ③ Recycle（リサイクル）…再資源化



なるようなものを減らすことがエコライフのための大事な心得です。



②リユース
リユースとは、繰り返し使用することです。持ち物は繰り返し使う、いらなくなったものは欲しい人に譲る、フリーマーケットやリサイクル店を利用する、壊れたら修理するなど再利用するように努めましょう。



③リサイクル
リサイクルとは、再資源化することです。資源は適切に仕分けして指定された日にごみ出しする、リサイクル製品を使うことを心がけましょう。

①リデュース
リデュースとは、減らすことです。使い切つてごみを出さないようにすること、ごみになりにくい製品を買うこと、包装紙などはできるだけ少なくすること、マイバッグを持つてレジ袋をなるべく使わないこと、詰め替え製品を買うことなど、ごみに

【買い物の目安になるマーク】



※経済産業省ホームページから転載

すことが可能となりました。プラスチック容器などは、ベンチなどになります。私たちの回りにはリサイクルできるものがたくさんありますが、気を付けなければならぬことがあります。それは「分別する」ということです。

【ごみの識別マーク】

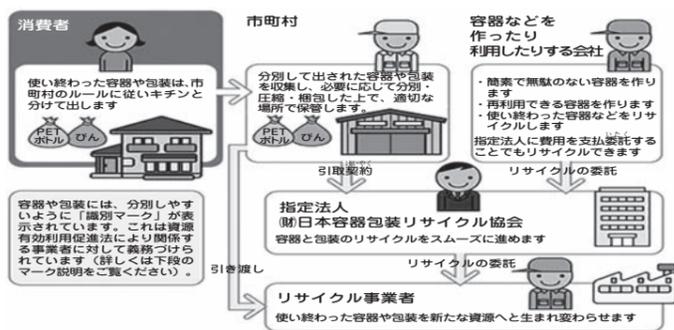


※経済産業省ホームページから転載

迷ったときは、識別マークを見てください。

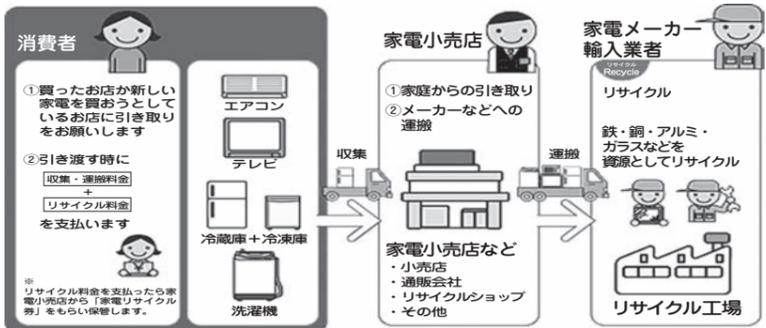
飲物などの缶、ペットボトル、プラスチック、紙の容器包装には、識別マークを付けることが法律で義務付けられています。正しい分別がリサイクルの第一歩です。

【容器包装リサイクルの仕組み】



※経済産業省ホームページから転載

【家電リサイクルの仕組み】



※経済産業省ホームページから転載

3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進といったライフスタイルの積み重ねがはじめてごみの減量が進められます。今後も、「ごみが少なく環境にやさしいまち熊野町」に暮らすことに誇りが

持てるよう、ごみ減量を進めていきます。引き続き町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

●環境センターでは「ごみ持ち込みが可能です」

熊野町と東広島市黒瀬町の境にある熊野町環境センターは、町民の皆さんが、自主的に家庭から出るごみ（生ごみを除く）を持ち込むことができます。施設です。ごみステーションに出すときと同様に、あらかじめ分別をして持ち込んでください。



▽受付日

平日、第2土曜日、第4日曜日

▽受付時間

午前9時～11時半、午後1時～4時

▽持ち込み時に必要なもの
運転免許証、健康保険証など

【訂正とお詫び】

平成22年度までは、割れた蛍光管は埋立ごみでしたが、平成23年4月（平成23年度）からはすべて再資源化するため、有害ごみで出していたくように変更しました。

平成23年度「ごみの正しい出し方」の裏面「ごみの分別50音表」に誤って埋立ごみと分類してありますので、訂正してお詫びします。



6 町生活環境課 ☎820・560